

令和元年度卒業証書授与式 式辞

丹波篠山市立篠山中学校

『踏まるとも 根強く生きる道草の やがて花咲く春も来るらん』

令和最初の卒業証書授与式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加者を制限し、皆さんの大好きな歌を削減して時間も短縮した中で行うこととなりました。万が一感染により、四月からの進路先で順調なスタートがきれないことがあってはならない。一五の春に向けて、この試練を乗り越えていけるよう、教職員一同心をこめて、今日の卒業証書授与式を準備しました。

また、本日はご多用中にもかかわらず、丹波篠山市教育委員会 部長 稲山悟様と保護者の方をお迎えし、令和元年度 第七十回卒業証書授与式を、皆様の協力により挙行できますことに、心より厚くお礼申し上げます。

百四十八名の皆さん、卒業おめでとうございます。今、義務教育終了という、大きな節目を迎えました。これからは、大人として、自分の行動に責任をもち、義務を果たすことを求められることが多くなっていきます。卒業証書は、三年間の成長の証であると同時に、これからの人生への入場券、社会に参加することの許可証であると思ってください。

さて、皆さんと私が一緒に過ごしたのは、僅か一年間でしたが、最上級生として、生徒信条、「明るく楽しく厳しく」のもと、丹波篠山市立篠山中学校、令和最初の一ページに元気、躍動あふれた足跡を残してくれました。

「失敗を恐れず挑戦する勇氣」「集団を鼓舞する団結力」これは、篠山の伝統の中から生まれた篠山中学生在がもつ宝物だと思います。修学旅行では、レクレーションを自らつくりあげ皆で楽しみました。総合体育大会、腸炎がはやるアクシデントがありましたが、仲間と支え合い、市大会をはじめ丹有大会、県大会、全国大会で篠山中学校ここにありという結果を残しました。体育祭では、力強い演技に大きな拍手が起こりました。笑顔で行った応援も素晴らしく、人の絆の強さを感じました。文化祭では、心の底から声を出してつくりあげた合唱や演劇は、非常にレベルの高いもので、見ている者に元気と希望を与えてくれました。

生徒会が中心となり、地域の方と話し合っ人権教育を考える人権ミライエプロジェクトを新たに始め、多くのボランティア活動を行い、人権フェスタで発表をしました。皆さんの優しい気持ちに対して、地域の方からも高い評価をしていただきました。

行事だけでなく、今年は授業研究会を多く行いました。積極的に手を上げ、皆で意見をかわし、新しい考えを生み出す授業スタイルに取り組むことができました。

子どもから大人への階段を登り始めた中学生は、葛藤の渦の中でもがき、時には道を踏み外しがちです。三年間の長い道のりの中で、時にはささくれだった気持ちをもった時期があったかもしれません。しかし、男女仲良く、前向きに考え、話し合い、協力して乗り越えてきた三年間を今後の自信としてください。やはり、皆さんには笑顔が似合うと思います。

つきない思い出を、心のアルバムに納めつつ、これから描く人生の未来地図を一つの言葉で心から祝福したいと思います。

『何も咲かない寒い日は、下へ下へと根をのばせ。やがて大きな花が咲く』

皆さんは家族に見守られ、この世に生を受けました。しかし、今日まで、決して平穩無事な毎日ではなかったはずです。躍動感に満ちて今日を迎えられたのは、愛情と慈しみに満ちた家族や地域の方の支えがあったからです。「おかげさまで卒業しました」と感謝の気持ちを伝えるとともに、命の大切さを改めて考え、これから強く生き抜く決意をしてください。

明日から、いよいよ義務教育という温室を離れ、波乱に満ちた平原へと踏み出します。東京オリンピック・パラリンピックや次世代通信など、人の交流や技術革新が進み、何を知っているかだけでなく、何ができるかが重視される時代が皆さんを待ち受けます。

そこには、無限の可能性と希望があります。しかし、同時に、厳しいこと、先が見えないことが、それ以上にあるかも知れません。

人間の値打ちは、楽しいときや嬉しいときより、むしろ苦しいときや辛いときのふんばりにこそ、その真価が表れます。春になると華やかな花を咲かせる桜の木も、厳しい冬の寒さを堪え忍んではじめて美しい花を咲かせます。苦難に遭っても、成果がすぐに出なくても、「焦らず あわてず あきらめず」、目の前にあること一つ一つに挑戦し、時には、失敗の中にある価値も学び、人としての根をはってください。そして、自分らしい夢の花を咲かせて欲しいと願っています。

次に、保護者の皆様に一言、お祝いを申し上げます。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。今から十五年前、子どもたちは、ご両親から一つの命を授けられました。その命は、今、頼もしく燦然と輝きをはなとうとしています。お子様の晴れ姿に感激ひとしおのものがあるかと思います。本日を人生の節目として、今後とも立派に自立され、個性豊かな人間として成長されますよう、心からお祈り申し上げます。

また、三年間、篠山中学校の教職員一丸となって、子どもたちの成長を見守りつつ、精一杯努力したつもりではありますが、いたらない点もあったと思います。それにもかかわらず、私たちに寄せくださいましたご理解とご協力に対して厚く御礼申し上げます。

さあ、卒業生のみなさん、ふるさと丹波篠山で学んだことを誇りに思い、この素敵な仲間たちと過ごした喜びを胸に刻んで、これからの人生を歩んでいってください。名残はつきませんが、以上を、巣立っていく皆さんへの言葉といたします。

卒業本当におめでとう。しっかり前を向いて、胸を張り、明日に進んでください。

令和二年三月十日

丹波篠山市立篠山中学校長

細見博文